



2 月・・如月という月に・・（教育活動アンケートに関して）

2 月も半ばを過ぎ、本年度も残すところ、後 1 ヶ月あまりとなりました。まだまだ寒い日も多く、春はまだ遠いと思ってしまいます。

旧暦の月の呼び方をご存じのことと思います。・・・1 月から、睦月、如月、弥生、卯月、皀月、水無月、文月、葉月、長月、神無月、霜月、師走となります。旧暦の月の呼び方は実にその月の季節の状態を表している言葉ではないでしょうか。例えば今月、2 月は如月（きさらぎ）です。いろいろな意味があるのですが、旧暦の二月はまだまだ寒さが残っているので衣（きぬ）を更に着る月であるから「衣更月（きさらぎ）」と書いたともあります。また、子供が誕生するが如く草木が芽生える月という説もあります。さて、今学校では年度末を迎え本年度のまとめの時期となってまいりました。如月の意味のおり来年度に向け、新たな取り組み（芽生え）を見出す時期となっています。昨年末に実施いたしました、学校の教育活動に関するアンケートでは、数々の貴重なご意見等をいただくことができました、ありがとうございました。今回、別紙にて「まとめ」を配布いたしました平成 26 年度教育活動に関するアンケートに関して触れさせていただければと思います。さて、平成 26 年度のアンケートも文部科学省の指標並びに学校経営計画に合わせ質問内容を、「満足度」「元気度」「開かれ度」「期待度」の各項目を設け、ABCD の 4 段階で評価しました。平均を 2.5 ポイントとし、この平均値と結果のポイントの差と昨年度の結果と今年度の結果の差の二つで、比較・検討をすることにいたしました。

平成 26 年度の結果は 1 つの項目を除き、平均 2.5 ポイントを 0.5 ポイント以上、上回るという結果が得られました。期待度の「充実した学校行事」は生徒、保護者、教職員とも平均 2.5 ポイントより +1.0 ポイントを超えています。また、「わかりやすい授業」、「落ち着いた授業」、「悩みなどを相談」、「問題に対する親身な対応」に関する設問では平均で 3.0 ポイントを超える結果となりました。これらより、概ね学校の現状に満足し、学校生活が元気で活気をもっており、教育内容等の理解が図れていると考えられます。次に、調査対象別に特徴を見ていくと、生徒ではどの項目とも前年度に比べてポイ

ントが上昇しています。特に注目したい点は、開かれ度の「聞いてくれる学校・先生」では 3.0（前年度比 +0.5）ポイント、期待度の「相談・支援をしてくれる」3.2（前年度比 +0.5）ポイント「問題に対する親身な対応」では 3.4（前年度比 +0.8）ポイントで昨年度より上回りました。今年度、学校経営計画の重点とした「自分や他人を大切にすること」を重点に置き、生徒理解に努め、取り組んできた成果だと考えられます。今後も継続していきたいと思います。さらに、期待度の「盛んな部活動」で、前年度より上昇しました。保護者は、ほとんどの項目で 3.0 を超える評価をいただきましたが、期待度の「盛んな部活動」と「整った施設や設備」、二つの項目で前年度よりポイントが 0.1 減少しています。教職員では満足度の「わかりやすい授業」、元気度の「規律や規則を守った生活」、期待度の「充実した学校行事」、「盛んな部活動」、「災害時を考えた取り組みを行っていると思いますか」で昨年度よりポイントが減少しています。これは、現在の取り組みで満足することなく、より良い教育活動を実践しようとする姿勢の表れであるとともに、一部の生徒の落ち着きのなさが感じられる点、さらに、自由意見にも見られた「以前よりも挨拶ができなくなっている」などからこの様な結果になったと考えられます。今後も、研修等で自己の指導力等の向上および実践内容の充実を図るとともに、生徒への積極的な働きかけを行っていききたいと思います。さらに、ポイントが低くなった項目には施設面があります。特に教職員は 2.8（前年度比 ± 0）ポイントであり、全質問項目の中で唯一、2 ポイント台でした。施設の老朽化や避難拠点としての施設利用の面、バリアフリーなどを考えるとまだまだ改善を図っていく必要があると考えます。自己での修復・改善などを推進するとともに区へ要望などを出し、働きかけを行っていききたいと思います。その他として、教員の言葉遣いなどにもご意見をいただきました。この点もぜひ、注意を払い、保護者・生徒から信頼をしっかりと得られるよう、より良き学校作りのため努力をしていきたいと思っています。

今後ともご理解とご協力をお願いいたします。

< 副校長 >

大切な思い出を得たスキー移動教室

今年度のスキー移動教室は、軽井沢での実施となりました。(隔年で武石と軽井沢で実施されています。)残念ながら、風邪や体調不良で数名の生徒が欠席となりましたが、今年度も無事スキー移動教室を終えることができました。



実習3日目、東京でも積雪を記録した日に雪が降ったものの、1、2日目の実習は、好天に恵まれ、頂上では、遠く日本アルプスの峰々や昨年噴火した御嶽山の噴煙まで望むことができました。3日目の雪はかなりなものでしたが、それはそれで降る雪を楽しみ結晶がそのままウェアの上に降ってきたと感動している生徒もいました。

生徒たちにとっては、北町中学校に入学して全員で行く初めての移動教室。生徒全員が大変楽しみにしていました。初心者が半数、スキーはしたことがあっても1回程度という者も多く、多くの生徒が、スキーに対して期待と不安をもっていたと思います。

初心者の生徒たちは、最初スキー靴をはくのも一苦労。歩くのもぎこちなくゲレンデに出れば殆ど平らなところでもスキーが勝手な方向に流れていって転んでしまうといった様子でした。そんな生徒たちをインストラクターの先生は、手取り足取り丁寧に教えてくださり2日目には、もうリフトに乗れるまでになりました。3日目には、トレインでゲレンデを降りてこられるようになっていました。もちろんスキー経験の多い上級班の生徒たちは、初日からリフトに乗り、軽快にゲレンデを滑り降りていました。初心者も上級者も、みんな楽しく充実したスキー体験ができ

たと思います。そして、スキーを楽しむ他にも、体全体で冬の自然を感じることができたのではないのでしょうか。キーンと澄み切った空気、遠くの景色、光に反射して輝く雪、動物たちの足跡。都会では経験できないことがたくさん詰まったスキー教室でした。



スキーだけでなく、宿舎も生徒たちの学びの場です。残念ながら予定していた星空観察は天候不良でできませんでしたが、代わりにベルデ軽井沢の支配人の方が、ご自分が研究している野生生物の話をしてくださり、宿舎裏手の国有林の中に多くの野生動物が生息している様子をビデオで見せてくださいました。また、実際に熊の毛皮や鹿の角に触ることができました。

また、12月から準備した実行委員会主催のクイズ大会(高校生クイズを参考にしました)レクリエーションも行い、大いにみんなで盛り上がりました。

宿舎での生活でも多くのことを学んだようです。「みんなが仕事を分担して時間やルールを守って生活する。」家庭と違って窮屈に感じることもあるでしょうが、みんなが気持ちよく過ごすには、「責任ある行動と、心遣い、優しい気持ちを持つことが大切だ。」と改めて感じたのではないのでしょうか。

ここで得た大切な思い出とともに、豊かな自然に感謝し、多くの方々の力を得て、スキー教室ができたことに感謝して、この経験を学校生活に生かしてくれればと願っています。そして、また近い将来是非、スキーを楽しんで欲しいと思います。

<2学年主任>

第6回中学生「東京駅伝」練馬チーム初優勝

2月8日(日)、調布市の味の素スタジアムで地区代表50チームが参加して行われました。練馬区チームは男子2位、女子1位、総合1位になりました。男子は1位八王子との差は僅か2秒でした。

男子 2位 42.195km 2時間22分43秒(17選手)

2年男子：7区(2km) 6分49秒

2年男子：13区(3km) 10分34秒

平成26年度練馬区教育委員会生徒表彰

今年はスポーツ・文化芸術などで活躍した114の個人団体が表彰されました。本校では2名が表彰されました。

3年女子 都大会3年女子走り高跳び 第1位

3年女子 国体や各大会に出場し入賞

スピードスケートショートトラック平昌冬季オリンピック強化指定選手

東京都中学校アンサンブルコンテスト 吹奏楽部 銀賞

1月24日(土)、府中の森劇場「どりーむホール」で第48回東京都中学校アンサンブルコンテストが行われました。吹奏楽部が参加し、管楽八重奏で銀賞を受賞しました。

練馬区中学校研修卓球大会

2年女子シングルス3位

1年男子シングルス2位

1年女子シングルス3位

第64回東京都公立学校美術展覧会

修学旅行しおり表紙 3年女子3名

ペン立て 3年女子2名

ウォールポケット 2年女子2名